

農山漁村地域整備計画の事後評価

1. 計画名称：北海道漁港漁場漁村整備計画
2. 計画策定主体：北海道
3. 計画の期間：平成27年度～令和元年度（5年間）

事後評価項目	評価の内容
①交付対象事業の進捗状況	計画期間内の地区（対象地区24地区）は水産物供給基盤整備事業・漁港漁村環境整備事業は予定どおり実施しました。 令和2年以降に継続する地区については、次期計画（令和2年度～令和6年度）で実施予定です。
②事業効果の発現状況	計画期間内に事業完了した地区については、事業効果が発現しました。 令和2年以降に継続する地区については、次期計画（令和2年度～令和6年度）により、早期に効果発現を目指します。
③成果目標の目標値の実現状況	1 魚類資源の産卵場や育成場としての機能を有する多様な藻場を造成 【目標値】30,900m ² 【実現状況】80.1%
	2 安全な航行・係留・陸揚げを図る漁船の数 【目標値】対象隻数：192隻 【実現状況】100%
	3 漁港整備による作業時間の短縮 【目標値】のべ23,995時間 → のべ12,513時間 に短縮 【実現状況】96%
	4 波浪発生時の漁船1隻当たり監視回数 【目標値】漁船1隻当たり監視回数 57回/年 → 19回/年 【実現状況】61%
	5 外郭施設の整備による蓄養殖施設の耐用年数の延長 【目標値】耐用年数 4年 → 5年 【実現状況】100%
	6 係留施設の整備による漁船の耐用年数の延長 【目標値】耐用年数 7年 → 10.17年(FRP船) 【実現状況】100%
	7 外郭施設等の整備による漁船の耐用年数の延長 【目標値】耐用年数 7年 → 10.17年(FRP船) 【実現状況】68%
	8 外郭施設等の整備による漁船の耐用年数の延長 【目標値】耐用年数 9年 → 12.17年(鋼船) 【実現状況】53%
	9 外郭施設等の整備による漁獲機会の確保 【目標値】出漁不可能 64日 → 0日 【実現状況】61%
	10 用地の整備によるホタテガイ生産損失額の軽減 【目標値】軽減金額 8,847千円 → 0千円 【実現状況】100%
	11 集落排水施設の長寿命化が図られている処理区域人口 【目標値】2地区（処理区域人口 1,617人） 【実現状況】100%
	12 漁港集落排水施設における機能保全計画の策定率 【目標値】5地区 【実現状況】100%
	【総括】 12項目中6項目は目標達成しました。残り6項目については次期計画により、早期に目標達成を目指します。
④今後の方針	今後とも次期計画（令和2年度～令和6年度）により、魚類資源の育成場としての機能を有する多様な藻場の造成を図るとともに、漁港機能の維持・強化及び漁村の集落排水施設の長寿命化等を図ります。